

「海老名発 東日本大震災救援活動展」

開催期間：平成24年3月5日(月)～13日(火)

開催時間：開庁時間のみ

「海老名発 東日本大震災救援活動展」を開くにあたり、東日本大震災により亡くなられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。

平成23年3月11日発生した「東北地方太平洋沖地震」から、早1年を経過しようとしています。私たちは、あの津波により破壊された街並みを、現地救援活動をとおして見てきました。

「海老名発 東日本大震災救援活動展」を市民の方々に見て頂くことにより、一人でも多くの方が、被災者の復興への力になるべく“今できることから、まづ実行”をして頂ければと願い、開催いたしました。

主催：海老名市・海老名市消防本部

海老名市社会福祉協議会

海老名災害ボランティアネットワーク

「海老名市災害救援ボランティアセンター設置

社会福祉協議会と海老名災ボラネットは、3月29日海老名市（地震災害対策警戒本部）の要請を受け社協ボランティアセンター内に「海老名市災害救援ボランティアセンター」を開設しました。

今回の、災害救援ボランティアセンターは、海老名市内での災害救援活動を行なうためのものです。

東北関東大震災で被災された方を受け入れるため、海老名市では、一時避難所が、4箇所設置されました。まだ、避難されてきた方は居ませんが、今からボランティアを募集、準備しておくことにより、被災者が入居された時、ニーズに対し混乱無くボランティアを派遣が出来る様準備をする。

現時点では、いつどこの一時的避難所に何名来るか不明です。

平成23年 4月 5日（火）

第1回救援ボランティア説明会開催

平成23年 4月 9日（土）

第2回救援ボランティア説明会開催

両日の説明会で209名の登録を頂きました。



ボランティア説明会

「思いで探したい」に参加

「思いで探したい」とは、被災者が日頃使用していた品々や、思い出となる物を、瓦礫の中から探し出し持ち主に返す活動です。独立行政法人 防災科学技術研究所 防災システム研究センター の要請を神奈川災害ボランティアネットワークが受け構成員である各ネットに呼びかけがなされた。海老名災害ボランティアネットワークは、会員から参加者を募集し参加しました。

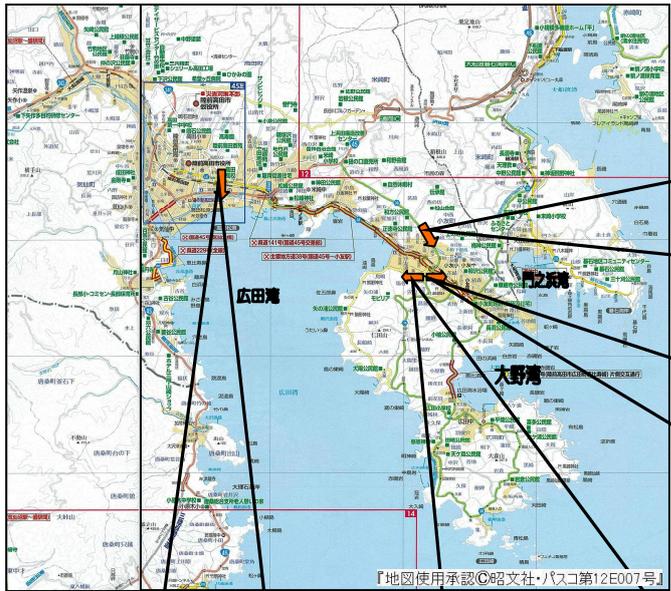
第1回：H23年 4月 9日（土）～10日（日）
（車中1泊2日）
活動日：10日…大船渡
主催：「神奈川災害ボランティアネットワーク」

第2回：H23年 4月23日（土）～25日（月）
（車中2泊3日）
活動日：24日…1班・大船渡
2班・陸前高田
主催：「神奈川県」

第3回：H23年 4月29日（金）～5月1日（日）
（車中2泊4日）
活動日：30日…1班・大船渡
2班・陸前高田
3班・住田町
主催：「神奈川県」

第4回：H23年 5月 7日（土）～ 9日（月）
（車中2泊3日）
活動日： 8日…1班・大船渡
2班・陸前高田
主催：「神奈川災害ボランティアネットワーク」

陸前高田市の当時の状況



広田湾を望む。右方向が高田の松原です



門之浜湾・大野湾方向に向かって



広田湾



『思い出探し隊』 陸前高田市での活動

陸前高田市では、4月24日・5月8日の2日間、オートキャンプ場モビリアの施設を利用して、消防等が集めた品々の仕分けと、これ等を所有者に返すための展示会（8日のみ）を気仙大工左官伝承館駐車場にてお手伝いしました。



仕分け作業



展示会全景



展示はブルーシートに並べ実施



被災者への受け渡し



気仙大工左官伝承館施



ボランティアバスパックの運行

海老名社協は、5・6月に釜石市社協が運営をしている釜石市災害救援ボランティアセンターへ職員を派遣した関係で、ボランティアバスパック3便の運行を行うこととする。

実施内容

第1クール

期間：平成23年 6月10日～12日
(車中1泊、2日)

活動場所：11日…鵜住居町個人宅周囲片付け
釜石高校避難所の引っ越し
12日…鵜住居町個人宅周囲片付け

第2クール

期間：平成23年 6月17日～19日
(車中1泊、2日)

活動場所：18・19日
…唐丹地区田んぼ清掃作業

第3クール

期間：平成23年 6月24日～26日
(車中1泊、2日)

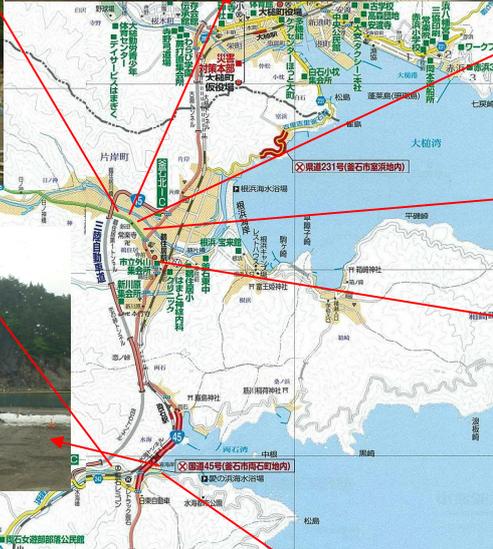
活動場所：25・26日
…唐丹地区田んぼ清掃作業

主催：海老名市社協・海老名災ボラネット

尚、宿泊所として遠野市のご協力により地内多目的集会施設を利用させて頂きました。

鵜住居・釜石・唐丹地区の当時の状況

6月11・12日の活動現場
鵜住居地区民家



←この間防潮堤と水門が壊れている



6月11・12日の別働隊活動現場
釜石高校避難所



防潮堤が破



6月18・19・25・26日活動現場
唐丹地区田んぼの清掃



唐丹小学校

『地図使用承認©昭文社・パスコ第12E007号』

大槌町災害ボランティア活動

「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」事業の一つとして、地域で活動している災害ボランティアネットワークとその活動地域の結び付けをはかることを目的に、実施された事業です。

実施内容

期間：H23年 9月16日(金)～19日(月)
(車中2泊、4日)

活動場所：17日…赤浜地区住宅跡地清掃
18日…浪板地区住宅跡地清掃

主催：海老名災ボラ・海老名社協

尚、宿泊所として遠野市のご協力により、遠野市上宮森地区多目的集会施設を17日の宿泊所として利用させていただきました。

神奈川ボランティアステーションとは！

神奈川災害ボランティアネットワークは、東日本大震災の被災者を支援する目的で、2011年3月22日にこの「東日本大震災特設サイト」を立ち上げました。その後、4月11日に、神奈川県（かながわ県民活動サポートセンター）、神奈川県社会福祉協議会、神奈川災害ボランティアネットワーク、3者の協働事業として立ち上がった「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」事業を事務局として支え、被災地へのボランティアバスの運行、地元神奈川での避難者への支援活動など、様々な活動を行っています。

詳しい内容は、

<http://ksvn.jp/> まで

17日…赤浜地区住宅跡地清掃



16日21時市役所出発 17日朝今晚の宿泊所になる、遠野市上宮森地区多目的集会施設に荷物を置き8時大槌町に向け出発。

大槌町ボランティアセンター
津波災害を受けたパチンコ店を利用していた。



この作業は、地域住民から、強い風の時埃がひどく、喉を痛めるので土砂の片付け清掃の要望がセンターになされ、今回の実施になりました。



センター担当者から説明を受ける



他のボランティアの方々との共同作業になりました。



18日…浪板地区住宅跡地清



昨晩の宿泊施設となった遠野市上宮森地区多目的集会施設

大槌町に向け出発前の参加者の面々

大槌町ボランティアセンター
津波災害を受けたパチンコ店(現在は、開業中)を利用していた。

18日活動場所：浪板地区

17日活動場所：赤浜地区

『地図使用承認©昭文社・パスコ第12E007号』

浪板海岸駅



この作業は、被災者が自分の住居跡が草に覆われ荒れてゆくのを見かねての依頼とのことです。



38名で集めた草やゴミと海老名へ帰るバス

ボランティア 個人参加に道

横浜と岩手・遠野に支援拠点

震災の被災地に組織的にボランティアを派遣する態勢づくりを進めてきた神奈川県災害ボランティアネットワークと県、県社会福祉協議会が、横浜にスタッフが常駐する事務拠点を発足させる。岩手県遠野市に現地拠点を設けるメドも立ち、個人による被災地支援を支える仕組みが整ってきた。

バス週2便計画

これまで被災地でのボランティア活動は、現地の態勢が整わないなどの理由から、現地に受け入れ組織を持つ団体を通じての参加に事実上限られてきた。

神奈川県などは説明会を

開き、700人を超える個人のボランティア希望者が登録を済ませた。しかし、仕事は神奈川県での一時避難所の手伝いや、救援情報を集約しての特設サイト（<http://ksvn.jp/>）の更新などだった。

現地拠点を探していた同ネットワークは、藤沢のグループが防災科学技術研究所（防災科研）茨城県つくば市）と共同研究をしている縁で、防災科研が遠野市で借りた集会所を使うことにした。内陸の遠野は地震の被害が沿岸部ほど甚大ではなく、沿岸の被災地まで車で約1時間の距離だ。

視察を兼ね、ネットワークのメンバーら28人の先遣隊が防災科研が用意したバスで9日夜に横浜を発ち、遠野経由で大船渡市に向か



った。11日早朝には戻る強行日程で、大船渡で計4時間、「思い出探し隊」として活動した。

がれきの撤去で重機が入る前に、家々から津波で流されたアルバムなどを大きなポリ袋10個以上に拾い集めた。丁寧に洗って乾かし、ネット上に画像を載せ

て持ち主を探す計画だ。遠野は水道や電気も使え、神奈川からのボランティア派遣の拠点になることが確認できたという。

さらに同ネットワークなどは、かながわ県民センター（横浜市神奈川区、045・312・1121）内に「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」を開設することにこぎ着けた。

今後は県内のバス会社などに協力を求め、横浜と遠野を結ぶ定期バスを走らせる。仕事がある人でも参加でき、体力が続く2泊3日程度の行程を想定し、週2便にする計画。バス代の実

費程度を支払えば、個人が被災地支援に参加できる枠組みを作るといふ。

「これからは大勢いる一般市民の順番。長く安定的な被災地支援を続けましょう」とステーション代表に就いた同ネットワークの植山利昭さんは呼びかけている。（織井優佳）

独の市民団体

復興にエール

横浜 日独交流150周年

日独交流150周年を記念し、ドイツから市民団体「独日協会連合会」（本部・デュッセルドルフ）の一団27人が14日、横浜市中区



岩手県大船渡市で、被災者の思い出が詰まった写真やアルバムをがれきの中から拾い集めた「思い出探し隊」=10日、神奈川災害ボランティアネットワーク提供

果 区 の オ

大船渡市と連携して！

気仙市民復興連絡会は、4月21日午後3時半から、大船渡市役所応接室に大船渡市長を訪ねた。

戸田市長は知事や県内被災市町村長と共同で、政府への支援要望のため留守でした。代わりに防災振興局部長が対応した。

大船渡市に対し、気仙地域のNPO関係団体（市民活動団体）による長期復興支援組織を立ち上げた経緯、並びに当面の事業等を報告した。



横浜から来た佐藤敏之さん(35才)

中越地震のボランティアに行った際、愛知ネットの方々と一緒に支援活動を行ったことから、東日本大震災が発生したので愛知ネットへ電話し、気仙へ支援に来ていることを聞いて来た。すでに3月21日にも愛知ネットの方と気仙に来て、今回が2回目、4月22日出発し、23日の炊き出し手伝いへ来てくれた。

第3回気仙市民復興連絡会の世話人会

4月28日(木)午後3時から
福祉の里：YSセンター内

21日開いた際に決めた毎週木曜日の午後1半からの世話人会、28日に炊き出しが入りましたので、時間を午後3時からと変更します。

神奈川災害ボランティアネットワークと
神奈川県内のボランティアの方々15名
想いで探し「写真」復元に取り組む

4月24日(日)朝到着し、夕方まで
写真復元に頑張りました



写真の分別整理



写真をぬるま湯で洗浄



洗浄した写真を影干



昼食休憩：懇談中

復興へ 支援活動開始

気仙を元気に！



旧米崎保育所への
支援物資搬入作業

NPO 法人愛知ネットや防災科学技術研究所のご協力によって、4月5日YSセンターに気仙地域市民活動団体等が集まり、東日本大震災からの長期復興支援を目指して「気仙市民復興連絡会」を立ち上げた。

特に被害が大きく市職員も多数死亡した陸前高田市の支援を行うことにし、陸前高田市ボランティアセンターの要請にて、8日午前中は米崎小学校の机や椅子等の運搬、午後は旧米崎保育所の荷物運びを行った。

10日は「想いで探し」

神奈川災害ボランティアネットワークの皆さん28名が10日早朝大船渡市に到着し、気仙市民復興連絡会の方々と一緒に、大船渡町内2カ所に分かれて、がれきの中から想いでの写真等を探し出した。

結婚式・学校の卒業記念・家族団らん等の写真を山のように収集し、避難している大船渡地区公民館と北小学校に置き、



地の森・中央通り地域の
想いで探し隊の皆さん



想いで探し隊のお別れ会

心当たりの被災者の元へ帰ることを願っている。

また、「けせん・まちの保健室」は、サンリアでの保健相談・指導、「おはなしころりん」は、各地で読み聞かせを行うなど色々の団体が多様な活動を行っている。

11日から、広田町慈恩寺へ「炊き出し」

温かい物を食べたいなど1ヶ月にもなる避難している方々の要望に応えようと「炊き出し」を行う。この炊き

出しには愛知ネットの全面的な支援を受けて、「もさばロハス」の会員を中心に気仙市民復興連絡会が、炊き出しを始める。

このニュースは、連日発行を目指している。皆様の投稿・ご意見を待つ。



陸前高田市堂の前

「花見」へ 炊き出し

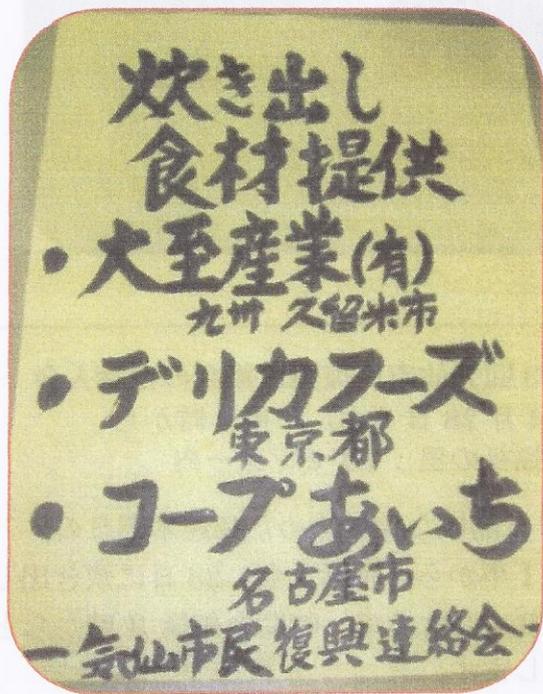
4月23日は、まちを元気にするため、桜も満開であるので、元気花見？を開き、炊き出しを行った。盛町有志の主催によって、秋田県能代市商工会議所青年部による「焼きそば」「おでん」に、私たち気仙市民復興連絡会による「カレーうどん」を提供した。

23日は朝から雨で食べに来る人があるか心配したが、多くの方々にご馳走することが出来、満足した。

今日の炊き出しには、大船渡高校生も参加し、賑やかな元気花見炊き出しであった。

協力団体は、愛知ネット(1人)、夢ネット大船渡(3人)、もさばロハス(2人)、横浜の人(1人)、市内の人(1人)、高校生(10人)でした。

能代商工会議所青年部・盛町の有志の方々も



4月27日・28日の炊き出し 米崎小学校体育館の避難所へ

花見炊き出し中に、陸前高田市社協の災害ボランティアセンターから電話があり、炊き出しの協力要請があった。場所は、米崎小学校体育館には避難している

人約120人、電気は復帰したが、水道が回復していない。ご飯は自衛隊の炊き出しがあるが、汁物等は避難している方が調理しているが疲れが重なり大変である。準備が出来る27日から炊き出しを約束した。カレーライスを食べたいとのことである。ご飯は自衛隊の炊き出しがあるので、カレーだけを調理する炊き出しである。

のびのび子育てサポータースマイル

「佐倉里公園でお花見しましょう」

スマイルの4月の行事として、「お花見会」を開きます。

◆期日：4月25日（月）10：00～11：30

おやつ・お弁当・飲み物等各自持参
参加費なし スタッフ募集！